

【エクアドル経済:2013年4月】

1. 日本からの農畜产品及びその副産品に対する輸入規制の撤廃

(1)エクアドル政府は、日本からの農畜産品の輸入規制措置を導入していたが、日本政府が農畜産品の放射能汚染レベルの厳しいコントロールを完全に回復したことから、4月3日付省令第32号(ビスカイノ農牧水産漁業省農産品品質管理庁長官署名)を以て上記輸入規制措置を撤廃した。

(2)エクアドル政府は、2011年6月16日付省令第65号(ヒメネス農産品品質管理庁長官署名)により、福島原発事故による放射能汚染に起因した日本からの農畜産品等の輸入規制措置を導入していた。同省令は、「今回の輸入規制措置は人的健康リスクを考慮すべく日本からの全ての農畜産品並びに副産品に適用される。2011年3月28日までに日本から出荷された産品、並びに3月11日以前に収穫処理された産品には右措置は適用されない」と規定していた。

2. メルコスール正式加盟交渉の開始決定

(1)5日、コリア大統領は、メルコスール加盟交渉にかかる委員会を設置することを決定したと発表した。

(2)コリア大統領は、「メルコスールの加盟は、EUとの通商協定交渉終了後になる。メルコスールの加盟交渉開始には、約10ヶ月を要することから、その頃にはEUとの貿易協定交渉が終了していることが望ましい」と述べた。

3. コリア大統領の外遊

(1)ドイツ訪問

(ア)15～18日にかけてドイツを公式訪問したコリア大統領は、16日、独商工会議所及び銀行協会等が参加した「第13回対ラテンアメリカの独経済」講演のメインスピーカーとして「エクアドル:安全な投資先, 社会変化, 政治」というテーマで講演した。

(イ)今回のドイツ訪問には、パティエーニョ外相, エスピノサ生雇用競争力調整大臣, エスピノサ知識人的能力調整大臣, ポベタ戦略部門調整大臣, タピア環境大臣, エスクデロ国家移民庁長官, ファルコニ国家開発計画庁長官, ラミレス国家科学技術庁長官, リバデネイラ通商・統合担当外務副大臣他, 財界関係者も同行した。

(ウ)17日、コリア大統領はメルケル独首相と二国間関係及びEUとの関係につき会談した。コリア大統領は、EUとの通商協定交渉再開に対する支援を求め、メルケル独首相は、それを了承しただけでなく、今後、両国の経済関係は発展するであろうと述べるとともに、インフラ事業にも参加する意思を示した。

(2)スペイン訪問

(ア)スペイン企業団体との会合

19日、コリア大統領のスペイン訪問に同行したエスピノサ生雇用競争力調整大臣及びリバデネイラ外務副大臣は、スペイン企業団体と会合し、エクアドルの可能性及び当国への投資について話し合った。

(4)ドミニカ共和国及びハイチ訪問

(ア)22日、ドミニカ共和国を訪問したコリア大統領は、サントドミンゴ自治大学での名誉博士号授与式に出席し、IMFの「処方」によりエクアドル経済は悪化したが、過去6年間IMFの代表の訪問を受け入れなかった結果、経済が改善したと述べた。

(イ)23日、ハイチを訪問したコリア大統領をマルテリー大統領が出迎え、両大統領は、エクアドル軍(ハイチ復興支援ミッション:Marche)がインフラ整備協力を実施しているアルティボニテを訪問した(エスピノサ国防相、パティーニョ外相同行)。コリア大統領は、今次訪問で、更に1,500万ドルの支援を行う旨決定した。

エクアドルは、2010年のハイチ地震発生以降、同国に対する復興支援を行っており、総額約4,500万ドルが支援されている。